

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス あい・ぼーと		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 8日 ～ 2024年 11月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17 (回答者数)	13
○従業者評価実施期間	2024年 10月 8日 ～ 2024年 11月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1 (回答者数)	1
○訪問先施設評価実施期間	2024年 10月 8日 ～ 2024年 11月 30日		
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	14 (回答数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 1月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問先との繋がりができ、継続して支援ができる。	保護者とのフィードバック後、保護者の同意のもと、訪問先に追加の内容を伝え連携を深めている。	今後も、保護者の同意のもと、必要に応じて訪問先と連絡を取り合う取り組みを行う。
2	多職種連携に繋がっている。	医療機関のリハビリに同席させて頂き、情報共有や支援内容を深めている。	本人が安心して自分の力が発揮できる環境を整える為に、多職種連携を継続して行う。
3	多機能事業所の為、放デイでの様子をダイレクトに訪問先に伝えることができる。	放デイでの様子を、利用児に主に関わっている職員に聞き取りをしたり、また、朝礼等で共有している。	引き続き、職員からの児の様子の聞き取りだけでなく、支援内容も検討し、訪問先と連携を深めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問支援員の配置人数が少ない。	訪問支援員が放デイとの兼務の為、訪問曜日が決まっても実施が難しい場合がある。	訪問曜日には、保育所等の業務がスムーズに遂行されるよう職員配置を整える必要がある。
2	訪問支援員の専門性を高める必要がある。	訪問支援員が少ない為、チームでの検討、協議ができていない。	法人内の児童分野の訪問支援員との協議の場を増やし、研修等も盛り込んでいくようにする。
3	保護者同士の繋がりができる場を、提供する必要がある。	保護者が気軽に話ができる場を設けておらず、繋がりができていない。	保護者同士の繋がりを深められるよう、放デイで開催している「保護者の集い」等を同時に開催する。